

平成 29 年度 会 計

むかわ町病院事業会計
決算審査意見書

むかわ町監査委員

平成29年度むかわ町病院事業会計決算審査意見書

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき審査に付された、「平成29年度むかわ町病院事業会計」の決算書、証書類及びその他政令で定める書類を審査した結果について、次のとおり意見を提出する。

平成30年8月29日

むかわ町監査委員 数 矢 伸 二

むかわ町監査委員 三 上 純 一

平成29年度むかわ町病院事業会計決算審査意見

1 審査の対象

平成29年度むかわ町病院事業会計決算

2 審査の期間

平成30年7月4日 1日間

3 審査の概要

この審査に当たっては、地方公営企業法第3条の経営の基本原則に基づき、適正かつ効率的に予算の執行及び事業の経営が行われているかどうか、決算報告書、財務諸表及び事業報告書が関係法令に準拠して作成されているか、また計数が正確に記載され、かつ当該事業年度における財政状態を適正に表示しているか否かを検証するため、関係諸帳簿等を検査し、合わせて関係職員の説明を聴取し審査をした。

なお、現金預金については、例月出納検査において確認し、預金通帳を検査し適正さを審査した。

4 審査の結果

(1) 決算諸表について

審査に付されたむかわ町病院事業会計決算報告書、財務諸表、事業報告書及び附属書類は、それぞれ関係法令の規定に適合し、経営成績及び当該年度末における財政状態が適正に表示されており、決算計数は適正なものと認めた。

(2) 事業状況について

むかわ町病院事業は、平成20年3月1日に設置されている。これは、北海道厚生農業協同組合連合会（以下「北海道厚生連」という。）により運営されていた「JA 鶴川厚生病院」の町立移管によるものである。

病院の運営については、利用料金制による指定管理者制度を導入し、北海道厚生連を指定管理者に指定している。

平成25年度に新しく開院した鶴川厚生病院において、より一層の医療充実を図っている。

本事業会計において、収益的収支では手数料や補助金の収入、用地及び建物等の減価償費のほか、「むかわ町鶴川厚生病院の指定管理者による管理に関する基本協定書」【以下「基本協定書」という。】に基づく指定管理者への運営交付金及び損失交付金の支出、資本収支では、病院改築事業に伴う借入を行った企業債元金償還は、平成26年度より開始している。

なお、病院用地の総面積に対する借地面積はの比率は、89.7%となっている。今年度中の増減変更はない。

	建 物
所在地	勇払郡むかわ町美幸1丁目86番地
取得面積	4,836.00㎡(床面積)
取得価格	1,307,422,329円

ア 収益的収入及び支出

(単位：円、%)

区 分	29年度	28年度	前年度比較	
			増減額	増減率
病院事業収益①	271,990,547	245,794,940	26,195,607	10.66
病院事業費用②	329,859,199	304,674,483	25,184,716	8.27
純利益 ①－②	△ 57,868,652	△58,879,543	1,010,891	1.72

病院事業収益は、予算額 272,089,000 円に対して一般会計からの補助金のほか診断書等文書料及び職員住宅料等も含め、271,990,547 円の決算額となっている。

病院事業費用は、医業費用で予算額 323,422,000 円に対して決算額は、建物等の火災保険料、借地料、事務什器リース料、運営交付金、損失交付金、会計システム負担金、減価償却費等で 323,416,755 円となっている。

次に、医業外費用で予算額は、企業債利息及び長期前払消費税勘定償却と雑支出で 6,494,000 円に対して決算額は、6,442,444 円となっている。

なお、当年度の純損失は 57,892,092 円となっている。(決算書 3 ページ参照) 指定管理者制度による北海道厚生連の運営管理について、平成 29 年度分の業務量は次表のとおりである。

「むかわ町鶴川厚生病院の指定管理者による管理に関する基本協定書」に基づく指定管理者への運営交付金は 133,298,000 円で、損失交付金は 61,415,175 円である。

前年度は運営交付金が 130,395,000 円、損失交付金が 36,352,140 円で、前年度対比で合計 27,966,035 円の増となっている。

区分	29年度	28年度	27年度
入院診療日数	365 日	365 日	366 日
延べ入院患者数	8,298 人	7,412 人	8,928 人
1日平均入院患者数	23 人	20 人	24 人
外来診療日数	244 日	243 日	244 日
延べ外来患者数	21,964 人	21,218 人	21,329 人
1日平均外来患者数	90 人	87 人	87 人

入院は昨年度より患者数は増加し、外来についても増加した。

イ 資本的収入及び支出

(単位：円/%)

区 分	29年度	28年度	前年度比較	
			増減額	増減率
資本的収入①	47,921,000	47,823,000	98,000	0.20
資本的支出②	103,299,988	103,040,429	259,559	0.25
収支差引額①－②	△ 55,378,988	△ 55,217,429	△ 161,559	0.29

資本的収入については、出資金で、予算額 47,950,000 円に対し、決算額は 47,921,000 円となっている。

資本的支出は、建設改良費及び企業債償還金で、予算額 103,307,000 円に対し、決算額は、103,299,988 円となっている。

(3) 財産状況について

ア 有形固定資産について

(単位：千円／%)

区 分	29年度	28年度	前年度比較	
			増減額	増減率
土 地	11,700	11,700	0	0.00
建 物	1,022,847	1,077,127	△ 54,280	5.04
構 築 物	73,036	82,065	△ 9,029	△ 11.00
器 械 備 品	85,223	139,276	△ 54,053	△ 38.81

固定資産総額は1,192,805,614円となっている。

イ 負債について

(単位：千円／%)

区 分	29年度	28年度	前年度比較	
			増減額	増減率
負 債	1,335,551	1,463,161	△ 127,610	△ 8.72

ウ 資本について

(単位：千円／%)

区 分	29年度	28年度	前年度比較	
			増減額	増減率
資本及び剰余金	3,331	13,302	△ 9,971	△ 74.96

負債資本の総額は1,338,882,113円となっている。

5 むすび

病院事業の決算額は、当年度純損益 57,892 千円の損失を計上したものの、前年度の純損失 58,902 千円に比べ 1,011 千円(1.72%)と僅かながらに減少した。

人口減少が進むなか高齢者人口割合が上昇を続けている本町においては、住民の健康を守る地域医療の確保のために、穂別国保診療所と鶴川厚生病院が果たす役割は極めて重要である。民間医療機関による医療提供が期待できないなか、町立病院等は必要な医療を安定的に継続的に提供していくために、地域医療機関との連携強化、ネットワーク化及び経営の効率化が不可欠であり、昨年3月に新改革プランを作成し平成37年(2025年)におけるビジョンに向けた取組内容を示している。

計画初年度の平成29年度の決算状況においては、計画枠内の事業運営となっており、指定管理者である北海道厚生農業協同組合連合会との連携を図り、今後とも本町の中心医療機関として質の高い医療サービスを提供する体制を維持強化するとともに、効率性・経済性に配慮し、公共の福祉増進に努められたい。

注1 文中及び各表中の金額で、千円単位(単位未満は四捨五入)で表示していることがある。そのため、差額又は合計額が円単位での実施と一致しない場合がある。

2 比率(%)については、原則として、小数点以下第2位を四捨五入している。

3 各表中で使用した符号「△」は負数である。